

介護老人保健施設の施設、人員並びに設備及び運営の基準に関する条例をここに公布する。

平成25年3月28日

静岡県知事 川勝平太

静岡県条例第26号

介護老人保健施設の施設、人員並びに設備及び運営の基準に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、介護保険法（平成9年法律第123号。以下「法」という。）第97条第1項から第3項までの規定に基づき、介護老人保健施設の施設、人員並びに設備及び運営に関する基準に関し必要な事項を定めるものとする。

(基本方針)

第2条 介護老人保健施設の施設、人員並びに設備及び運営に関する基本方針は、次のとおりとする。

- (1) 介護老人保健施設は、施設サービス計画に基づき、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うことにより、入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにすることとともに、その者の居宅における生活への復帰を目指すものでなければならない。
- (2) 介護老人保健施設は、入所者の意思及び人格を尊重し、常に入所者の立場に立って介護保健施設サービスの提供に努めなければならない。
- (3) 介護老人保健施設は、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市町村（特別区を含む。以下同じ。）、居宅介護支援事業者（居宅介護支援事業を行う者をいう。以下同じ。）、居宅サービス事業者（居宅サービス事業を行う者をいう。以下同じ。）、他の介護保険施設その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、ユニット型介護老人保健施設（施設の全部において少数の療養室及び当該療養室に近接して設けられる共同生活室（当該療養室の入居者が交流し、共同で日常生活を営むための場所をいう。）により一体的に構成される場所（以下「ユニット」という。）ごとに入居者の日常生活が営まれ、これに対する支援が行われる介護老人保健施設をいう。以下同じ。）の施設並びに設備及び運営に関する基本方針は、次のとおりとする。

- (1) ユニット型介護老人保健施設は、入居者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、施設サービス計画に基づき、その居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うことにより、各ユニットにおいて入居者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援しなければならない。
- (2) ユニット型介護老人保健施設は、地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市町村、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、他の介護保険施設その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めなければならない。

(施設に関する基準)

第3条 前条に定めるもののほか、法第97条第1項の条例で定める施設は、規則で定める。この場合におい

て、当該施設は、前条に規定する基本方針を踏まえたものとしなければならない。

(人員に関する基準)

第4条 第2条第1項に定めるもののほか、法第97条第2項の条例で定める員数は、規則で定める。この場合において、当該員数は、第2条第1項に規定する基本方針を踏まえたものとしなければならない。

(設備及び運営に関する基準)

第5条 第2条に定めるもののほか、法第97条第3項の条例で定める介護老人保健施設の設備及び運営に関する基準は、規則で定める。この場合において、当該基準は、第2条に規定する基本方針を踏まえたものとしなければならない。

附 則

この条例は、平成25年4月1日から施行する。